

Microsoftアカウントの管理と年次更新

2021.07.08 (木)
鹿児島市立学校ICT推進センター 木田 博

■ 自己紹介



鹿児島市教育委員会
学校ICT推進センター
木田 博

R3.4月～

文部科学省「ICT活用教育アドバイザー」令和元年度～



鹿児島県総合教育センター情報教育研修課

H30.4月～R3.3月



■ 鹿児島県における県域ドメインによる運用

県域ドメインによる運用のメリット

- ✓ 県内であれば、市町村をまたいで**転校**しても、同じアカウントを使い続けられる。
- ✓ **進学**(小学校～高校まで)しても、同じアカウントを使い続けられる。
- ✓ 小学校から高校までの**12年間**に渡る,学習成果物の保存や蓄積が可能 → 学習ログの永続性
- ✓ 市町村教委にとって、**アカウント作成に関するポリシー策定作業の簡略化, 統一化**による設定作業の軽減(自治体独自の設定も可能)
- ✓ 導入期における児童生徒のアカウント作成作業が不要

県域ドメインによる運用によるデメリット

- ✓ **アカウントの階層的な運用管理**
→アカウント管理の複雑化

Microsoft365 A1 ・ Google Workspace
両方が**県域(全市町村)**で利用可能

教育委員会：44

(県教委1, 市町村教委43)

小学校: 495校, 中学校:205校,
義務教育学校: 7校, 高等学校: 68校,
特別支援学校16校



■ 1人1アカウントの意義や必要性に関する研修

●県下教職員を対象とした「鹿児島県GIGAスクールオンラインセミナー」において



●市町村教育委員会担当者向け「県域ドメイン運用」に関する説明会(オンライン)

児童生徒「1人1アカウント(ID)」のメリット

- 児童生徒の端末への授業資料、課題の配布・回収等
- 個々の学習状況に応じた個別に最適化された課題への取組
- 学習の成果物等の保存・蓄積(時、場所を問わず閲覧可能)
- 安全な環境でのオンライン学習の実現(Web会議、オンラインテスト)
- 児童生徒の学習状況をリアルタイムで把握・確認
- ファイル作成・同時編集などの協働学習の実現
- どの端末を使っても、自身のファイルにアクセス可能
- 他のクラウドサービスとのSSOが可能

県域教育用ドメインのメリット①

①児童生徒にとって

- 他市町村へ転校しても、アカウントの新規作成や変更が不要。また、学習履歴や成果物の継続利用が可能
- 進学(小学校→中学校→高校)しても、アカウントを継続利用(県内公立学校のみ)
- 小学校1年から高校3年までの12年間に渡る学習成果物の保存や蓄積が可能
- 採用したOS(Windows, ChromeOS, iOS)に関係なく、県内全ての公立学校において、「Microsoft365 A1」と「G Suite for Education」の両方の利用が可能



■ 鹿児島県におけるアカウント命名規則

児童生徒用

□□□□□□□□ @ kago.ed.jp

入学年度 市町村番号 市町村ごとの連番

県域ドメイン

教員用

t□□□□□□□ @ kago.ed.jp

教職員番号 名のイニシャル

県域ドメイン

※可能な限りシンプルかつ一意に(県域での運用を前提に作成)

児童生徒用IDカードの配布

- 児童生徒の「アカウントの大切さ」に関する理解の促進
- 教委又は学校におけるアカウント発行（「IDカード」）の作業の軽減

IDカード



学校名 西郷小学校
名前 籠嶋 桜

ID (メールアドレス) : 20440001@kago.ed.jp
パスワード : Txyu8921

「ID」とは、インターネットの世界で、あなたがだれかを表してくれるもの、そして、それを証明してくれるものが「パスワード」です。
このIDとパスワードは、決してほかの人に教えたりすることなく、大切にしまっておきましょう。たとえ、仲のよい友達にもおしえてはいけません。
IDとパスワードを知られてしまうと、あなたのデータがだれかに消されてしまったり、かっぴに書きかえられたりしてしまいます。また、だれかが、あなたのふりをして、ネット上であなたをこまらすこともできてしまいます。
○この「IDカード」は、ほかの人の目にふれるばしょにおいたり、だれかにあずけたりしないようにしましょう。
○メールやチャットなどにIDやパスワードをぜったいに書かないようにしましょう。
○もし、だれかにあなたのパスワードを知られてしまったら、すぐに自分でべつのパスワードにするか、先生につたえてリセットしてもらいましょう。

令和 年 月 日
教育委員会

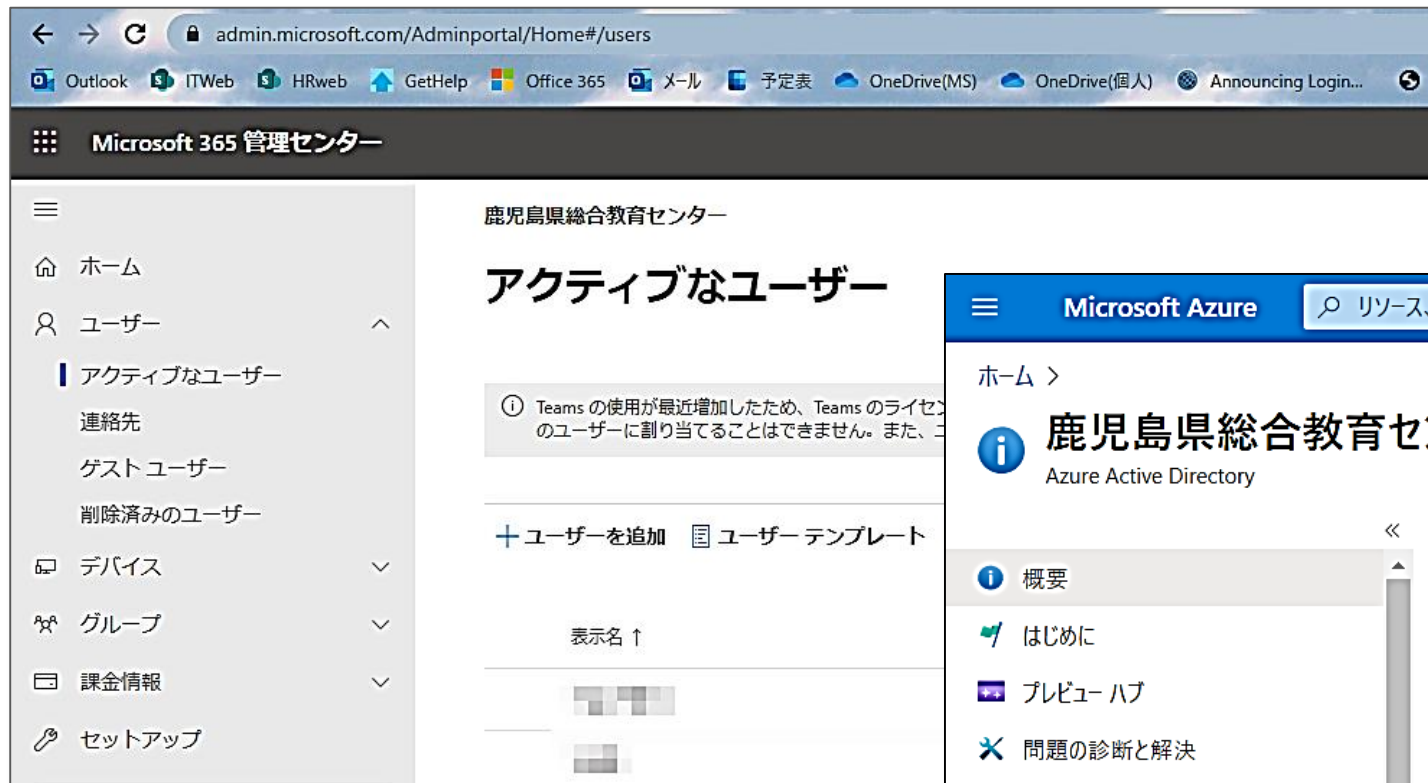
【IDカード作成手順】													
①教育委員会から配布されたID・PWを、それぞれの列、F列にコピーして貼り付けてください。													
②入学年度に注意して、あなたの学校（学級）の児童生徒を割り当ててください。													
※IDの上2桁は、児童生徒の入学年度を示しています。													
例：2020年入学 → 20*****@kago.ed.jp													
③B3のセルに学校名を入力して、右の「学校名のコピー」ボタンを押してください。													
※初期設定でNo.1000まで作成していますが、足りない場合には、下に行を追加して、No.をつけてからボタンを押してください。													
④ワード文書「IDカード（※学校）」を開き、差込印刷を行ってください。													

No.	学校名	名前	ID	パスワード
例	西郷小学校	籠嶋 桜	20440001@kago.ed.jp	Txyu8921
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				

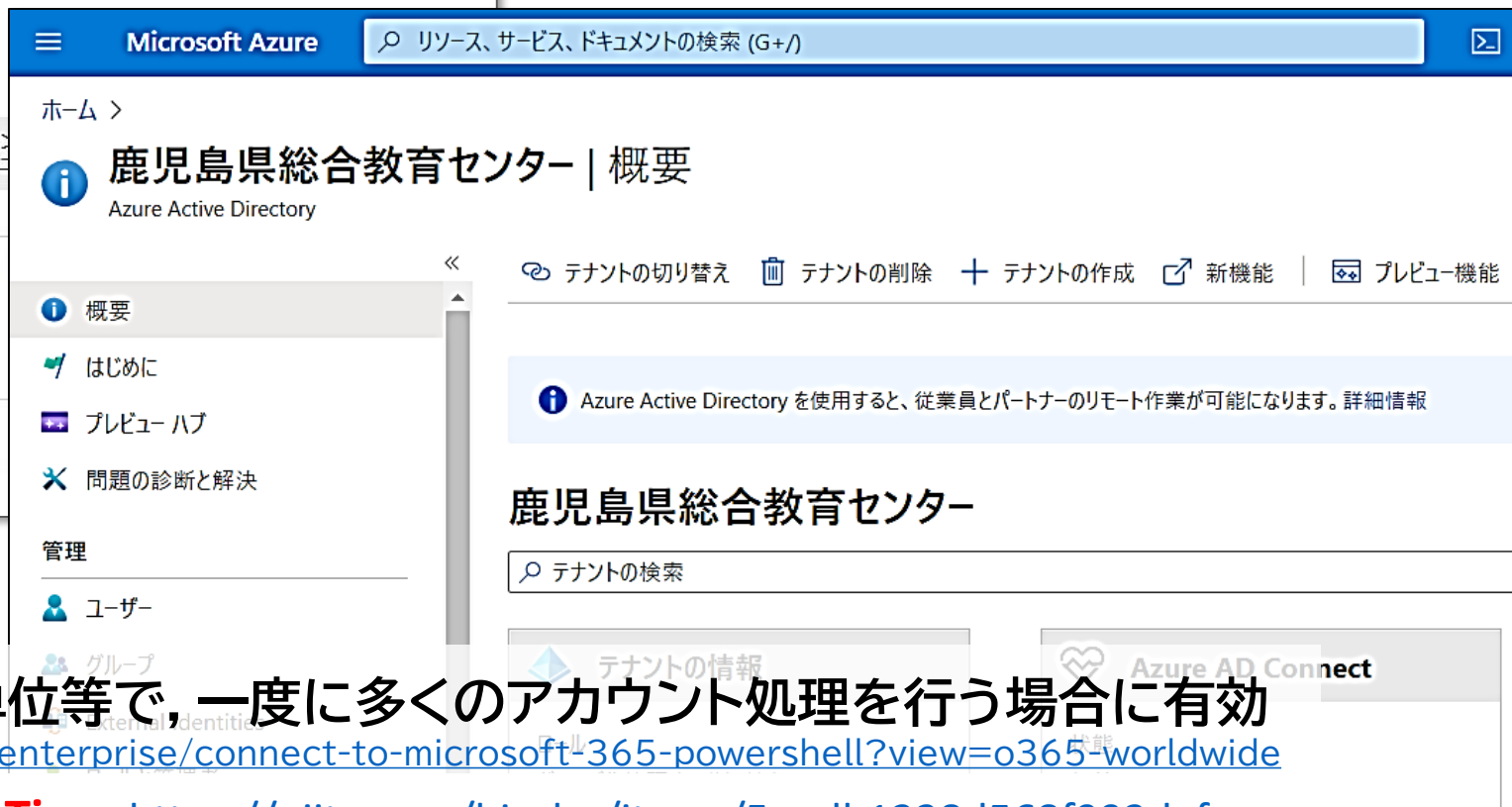
学校名のコピー

■ アカウント管理は Web ブラウザから

Microsoft 365 管理センター / Microsoft Azure



新規登録・属性情報等の一括変更は、
CSVファイルで250人まで
PowerShellを使うと5,000人まで



PowerShell ... 教育委員会単位等で、一度に多くのアカウント処理を行う場合に有効
<https://docs.microsoft.com/ja-jp/microsoft-365/enterprise/connect-to-microsoft-365-powershell?view=o365-worldwide>

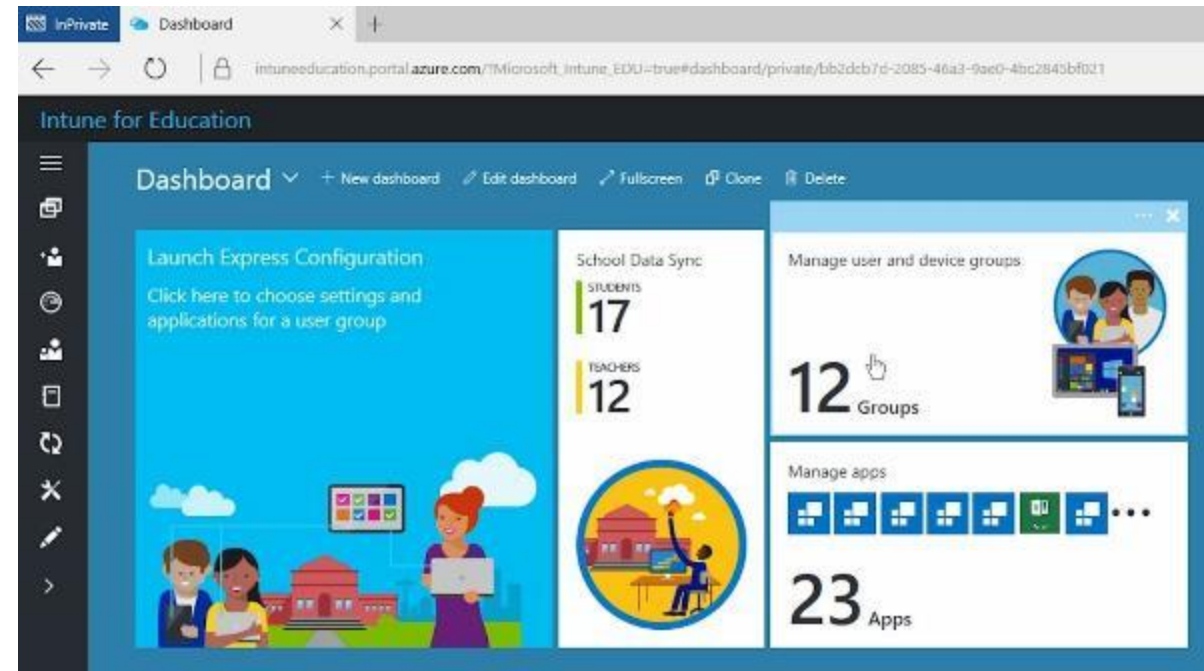
GIGAスクール | Office 365 の運用管理 Tips : <https://qiita.com/hisaho/items/5eedb1238d568f993daf>

■ 端末管理(Intune for Education)

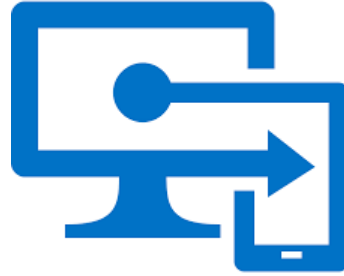
- ✓ Windows アップデートの制御(授業中にアップデートさせない)
- ✓ アプリケーションの配布
- ✓ [設定] のアクセス制御
- ✓ セーフサーチの有効化
- ✓ YouTubeの制限モードの有効化
- ✓ リモートワイプ(端末紛失時)

⋮

⋮

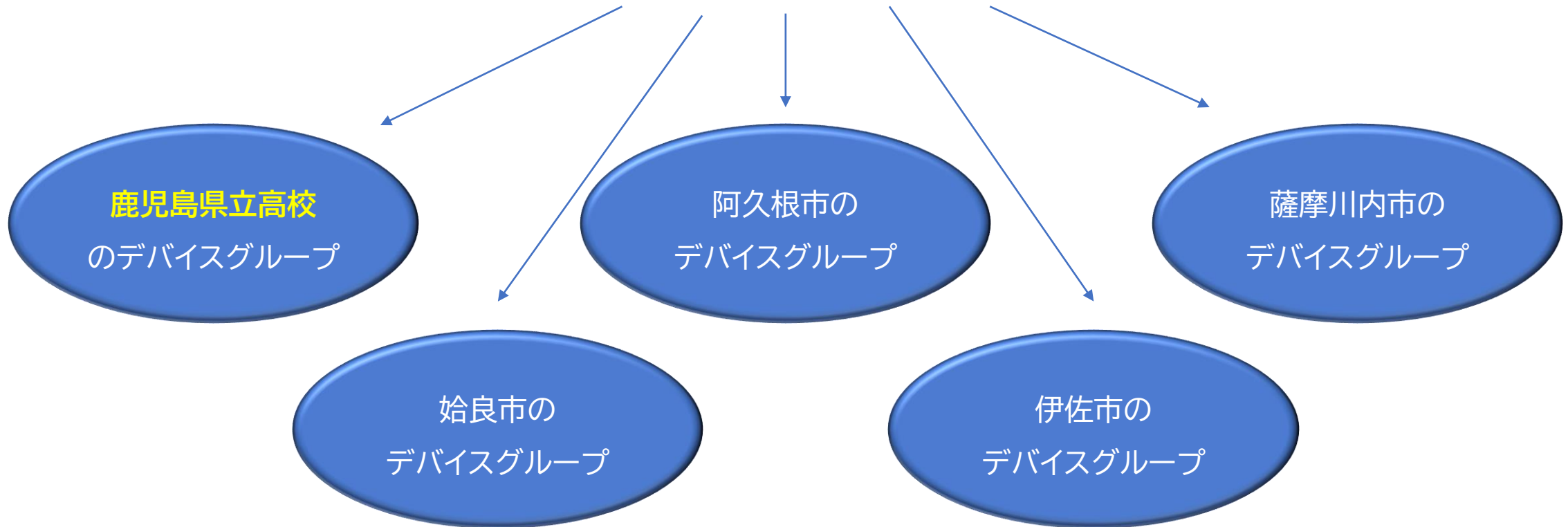


■ 端末管理(Intune for Education)



各教育委員会ごとにデバイスグループを
作成し、グループごとにポリシーを管理

Intune for Education



■ Microsoft Excel からも管理可能※1

アカウント処理をより簡易にするためのツール



STEP.1

端末アプリを起動し、
Azure Active Directory から
最新のマスターを取得

STEP.2

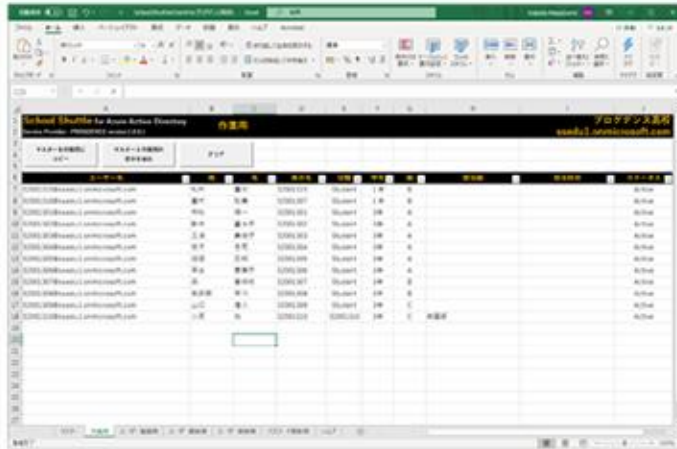
端末アプリ上の
ワークシートを編集
(登録・更新・削除)

STEP.3

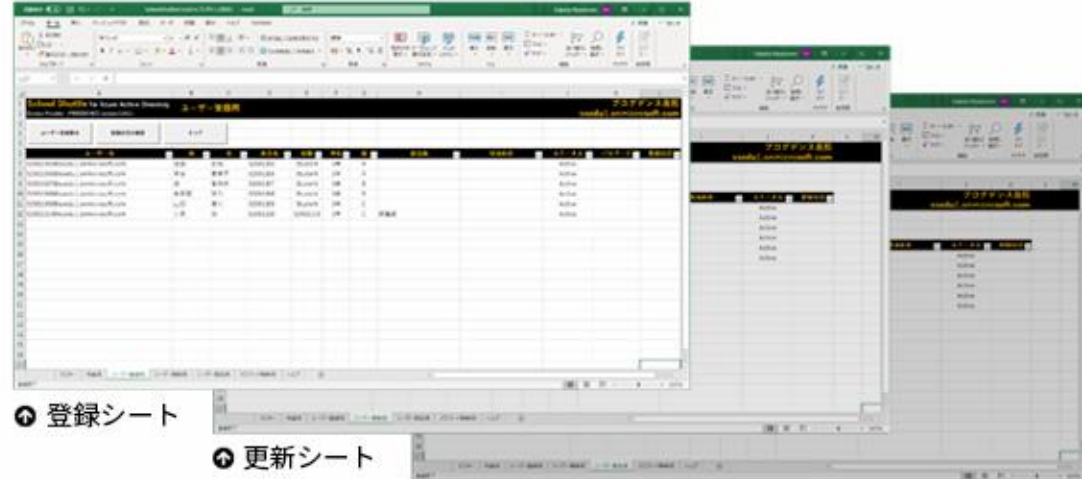
ボタンをクリックして
新規登録・更新・削除
を実行



Azure Active Directory



④ マスターからコピーしたワークシート



④ 登録シート

④ 更新シート

➡ 削除シート

■ 簡易な操作で、学校(教委)別ユーザ取得し、一括で処理可能

	A	B	C	D	E	F
1	School Shuttle for Azure Active Directory / Version 1.1.0.1 / PROGDENCE CO.,LTD.					
2	異動・転校用					
3	全体管理者 (kagoshimaedu.onmicrosoft.com)					
4						
5	ユーザー更新要求	更新状況の確認	異動・転校先学校の表示	クリア		
6						
7	ユーザー名	表示名	県市町村	ステータス	異動・転校先学校名	更新状況
8	msstu11003@kago.ed.jp	学生msstu11003	鹿児島県	Active	鹿児島県立マイクロソフト高校	
9	msstu11004@kago.ed.jp	学生msstu11004	鹿児島市	Active	鹿児島市立伊敷小学校	
10	msstu11005@kago.ed.jp	学生msstu11005	鹿児島市	Active	鹿児島市立一倉小学校	
11	msstu11006@kago.ed.jp	学生msstu11006	鹿児島市	Active	鹿児島市立鴨池中学校	
12	msstu11007@kago.ed.jp	学生msstu11007	鹿児島市	Active	鹿児島市立吉田小学校	
13	msstu11008@kago.ed.jp	学生msstu11008	霧島市	Active	霧島市立宮内小学校	
14	msstu11009@kago.ed.jp	学生msstu11009	霧島市	Active	霧島市立宮内小学校	
15	msstu10000@kago.ed.jp	学生msstu10000	さつま町	Active	鹿児島県立マイクロソフト高校	
16	msstu10001@kago.ed.jp	学生msstu10001	さつま町	Active	鹿児島県立マイクロソフト高校	
17	msstu10002@kago.ed.jp	学生msstu10002	さつま町	Active	鹿児島県立マイクロソフト高校	
18	msstu10003@kago.ed.jp	学生msstu10003	与論町	Active	鹿児島県立マイクロソフト高校	
19	msstu10004@kago.ed.jp	学生msstu10004	与論町	Active	鹿児島県立マイクロソフト高校	
20	msstu10005@kago.ed.jp	学生msstu10005	与論町	Active	鹿児島県立マイクロソフト高校	
21	msstu10006@kago.ed.jp	学生msstu10006	与論町	Active	鹿児島県立マイクロソフト高校	
	マスター	作業用	ユーザー登録用	ユーザー更新用	ユーザー削除用	パスワード更新用
						異動・転校用

「県域ドメインによるアカウント管理ガイド」の作成①

アカウント処理早見表

鹿児島県「県域ドメインによるアカウント管理ガイド」

【市町村教育委員会・学校編】Ver1.1

【目次】

I 県域ドメインによるアカウント運用について

- 1 ドメインとは . . . 1
- 2 1人1アカウントの必要性 . . . 1
- 3 県域ドメインの利点 . . . 2

※ アカウント処理早見表 . . . 3

II アカウントの管理について

- 1 初期構築、全児童生徒及び教職員用アカウントの作成 . . . 4
- 2 児童生徒及び教職員へのアカウント（ID・PW）の初期割当 . . . 4
- 3 新年度における「小学校1年生用」新規アカウント作成 . . . 5
- 4 新年度における「小学校1年生用」アカウントの割当 . . . 5
- 5 県外又は私立学校等からの転入児童生徒の新規アカウント作成 . . . 6
- 6 市町村内での児童生徒の転出 . . . 8
- 7 市町村内の公立中学校への進学（小学6年生） . . . 9
- 8 市町村外への児童生徒の転出 . . . 10
- 9 県内公立高等・特別支援学校への進学（中学校3年生等） . . . 11
- 10 パスワードリセット . . . 12
- 11 私立学校（中学・高等学校）への進学・転入又は県外転出 . . . 13
- 12 教職員人事異動（市町村内での異動） . . . 15
- 13 教職員人事異動（市町村外への異動） . . . 16
- 14 ユーザーの表示名の変更 . . . 17

	処理内容	作業担当	作業時期
1	初期構築、全児童生徒及び教職員用アカウントの作成 ○Microsoft ○Google	県教委	令和2年度 【完了】
2	児童生徒及び教職員へのアカウント（ID・PW）の初期割当 ○Microsoft ○Google ※同一アカウント（ID,PW）を割当	市町村教委 又は各学校	令和2年度 【完了】
3	新年度における「小学校1年生用」新規アカウント作成 ○Microsoft ○Google 市町村教委で新小1児童数を報告後、県で一括作成・発行	市町村教委 及び県教委	毎年度4月
4	新年度における「小学校1年生用」アカウントの割当 ○Microsoft ○Google ※同一アカウント（ID,PW）を割当	市町村教委 又は各小学校	毎年度4月
5	県外又は私立学校等からの転入児童生徒の新規アカウント作成 ○Microsoft 「School Shuttle」で作成 ○Google 「管理コンソール」で作成	市町村教委	随時
6	市町村内での児童生徒の転出 ○Microsoft 「School Shuttle」で処理 ×Google 作業不要	各学校 管理者	随時
7	市町村内の公立中学校への進学（小学6年生） ○Microsoft 「School Shuttle」で処理 ×Google 作業不要	各小学校 管理者	毎年度3月末 （卒業時）
8	市町村外への児童生徒の転出 ○Microsoft 「School Shuttle」で処理 ○Google 「Google 転出等報告フォーム」に入力	各学校 管理者 及び県教委	随時
9	県内公立高等・特別支援学校への進学（中学校3年生等） ○Microsoft 「School Shuttle」で処理 ○Google 「Google 転出等報告フォーム」に入力	各中学校 管理者 及び県教委	毎年度3月末 （卒業時） R2年度のみ R3.4月中旬迄
10	パスワードリセット ○Microsoft 「School Shuttle」で処理 ○Google 「管理コンソール」で処理	各学校 管理者	随時
11	私立学校（中学・高等学校）への進学・転入又は県外転出 ○Microsoft 「School Shuttle」で処理 ○Google 「Google 転出等報告フォーム」に入力	各学校 管理者 及び県教委	卒業後又は随時 一定期間 経過後
12	教職員人事異動（市町村内での異動）※転出処理のみ ○Microsoft 「School Shuttle」で処理 ×Google 作業不要	市町村教委 又は各学校	毎年度 3月末日
13	教職員人事異動（市町村外への異動）※転出処理のみ ○Microsoft 「School Shuttle」で処理 ○Google 「Google 転出等報告フォーム」に入力	市町村教委 又は各学校 及び県教委	毎年度 3月末日
14	ユーザーの表示名を変更する ○Microsoft 「School Shuttle」で作成 ○Google 「管理コンソール」で作成	市町村教委	随時

■「県域ドメインによるアカウント管理ガイド」の作成②

12 教職員人事異動（市町村内での異動）※転出処理のみ

(1) 内容

市町村内での小・中学校教職員における異動の処理（転出側のみ）を行う。

例）鹿屋市内のA小学校から同市内のB小学校に異動した。

具体的には、教職員の学校属性値を変更する。

(2) 作業（転出する学校側で作業）

① 「School Shuttle」で、異動・転校処理を行う。※「異動・転校用」シートを開く。

※ 操作の詳細は、マニュアル「School Shuttle for Azure Active Directory 操作マニュアル」のp16～、p41～を参照。

ユーザー名	表示名	ステータス	異動・転校先学校名
mssstu11000@kago.ed.jp	山田 太郎	Active	鹿児島県立鹿屋小学校
mssstu11001@kago.ed.jp	学生mssstu11001	Active	鹿児島県立鹿屋小学校
mssstu11002@kago.ed.jp	学生mssstu11002	Active	鹿児島県立鹿屋小学校
mssstu11003@kago.ed.jp	学生mssstu11003	Active	鹿児島県立鹿屋小学校

※ 「ユーザー名」「表示名」「ステータス」「異動・転校先学校名」を正しく、作業用シートからコピーすること。その際、「異動・転校先学校名」については、キーボードから入力するのではなく、「異動・転校先学校の表示」ボタンをクリックして、異動先の学校を選択して貼り付けること。

② Google 側での作業は不要。

(3) 担当

各学校管理者又は市町村教育委員会

(4) 実施時期

原則として、人事異動発表後から同年度の末日（3月31日までに）

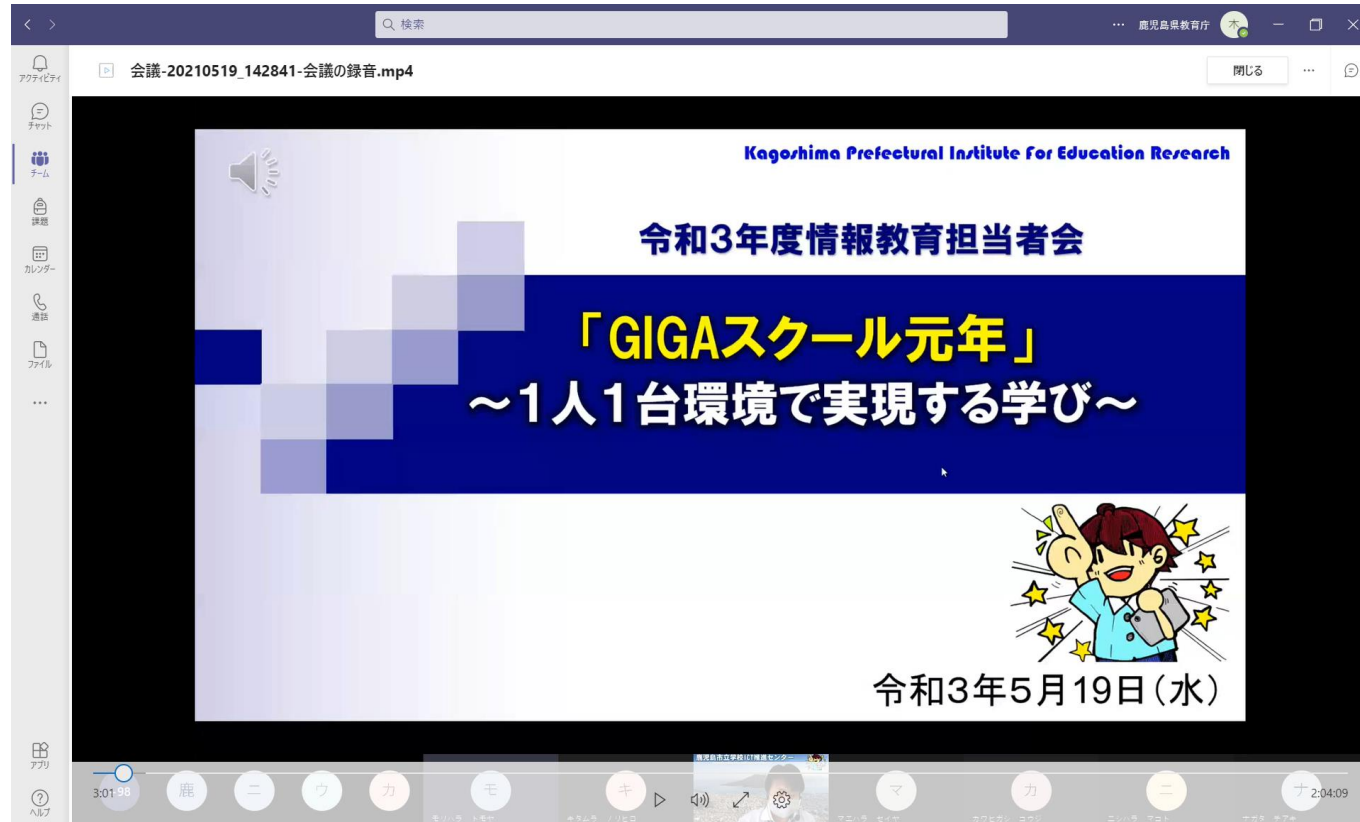
どんな場合に

どんな作業を

誰が(どこが)

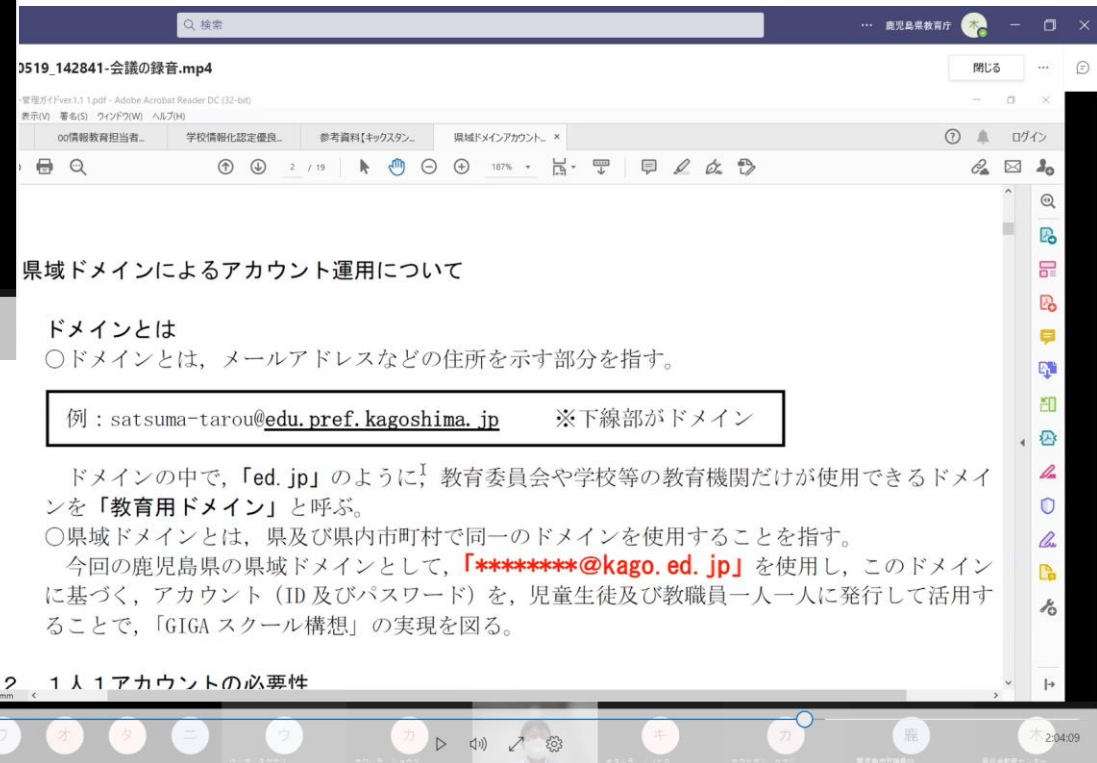
いつ(いつまでに)

■ アカウント管理研修会の実施



管理に必要な情報は、
共有し、適宜、更新

研修動画は、
いつでも視聴可能



「Teams」を活用した情報交換

 令和3年度情報教育担当者会

...

一般

1_Tips (Teams、ロイロの便利技等)

2_トラブル解決法 (こんな時どうする?)

3_県域ドメインについて

4_ロイロノート関連

5_オンライン活用について

6_iPad活用

7_実践を共有しよう!

「Teams」内で、
相互に問題解決

 3_県域ドメインについて 投稿 ファイル メモ +

チーム 会議

← 返信

2021年5月19日

 05/19 15:48
上の県内転入児童アカウント、同じことが起きてしまっています。

← 返信

 05/19 15:50
申請してある県外からの転入児童アカウント発行を、お待ちしております。

← 返信

 05/19 15:48
質問です。県外からの転入の生徒、私立中学からの転入の生徒はアカウントを持っていない状態かと思います。どのように対応すればよろしいでしょうか？

2件の返信

← 返信

 05/19 15:45
県内の転入児童のアカウントを入力しても「アカウントが存在しません」と表示され、ログインできません。どのような対応が必要ですか？

2件の返信

← 返信

 05/19 15:54
いろいろな情報、ありがとうございます。

← 返信

 05/19 15:48
県域ドメインにおいてワンドライブが使える思うのですが、こちらは個人情報などの機密ファイル以外はどんどん保存しておよろしいのでしょうか（USBが使用できなくなると先ほどのご説明でありましたので）。

admin (県総合教育センター) 05/19 15:54

■ アカウント管理の課題と対策

- **繁忙期**の作業は教委、**日常的**なアカウント管理は学校で。
- とにかく**転出処理**だけは確実に。転入処理は不要にする。
- アカウントの削除は、一定期間経過後に。
それまでは「**Inactive**」に。
- 年次更新を簡易にするために、
入力属性は極力少なく。「学年」「組」は必要か。
- アカウントの学校間(市町村間)の引継ぎ時の
トラブル対応のマニュアル化
- **氏名の外字対応**は難しい。カタカナ、ローマ字でも可
- 各学校の**転出事務処理の手引**にアカウント処理も追加

■ グループ管理の工夫

Microsoft 365 の動的メンバーシップ(ユーザー属性値を利用して自動的にグループにメンバーを追加する)を利用して様々なグループを管理

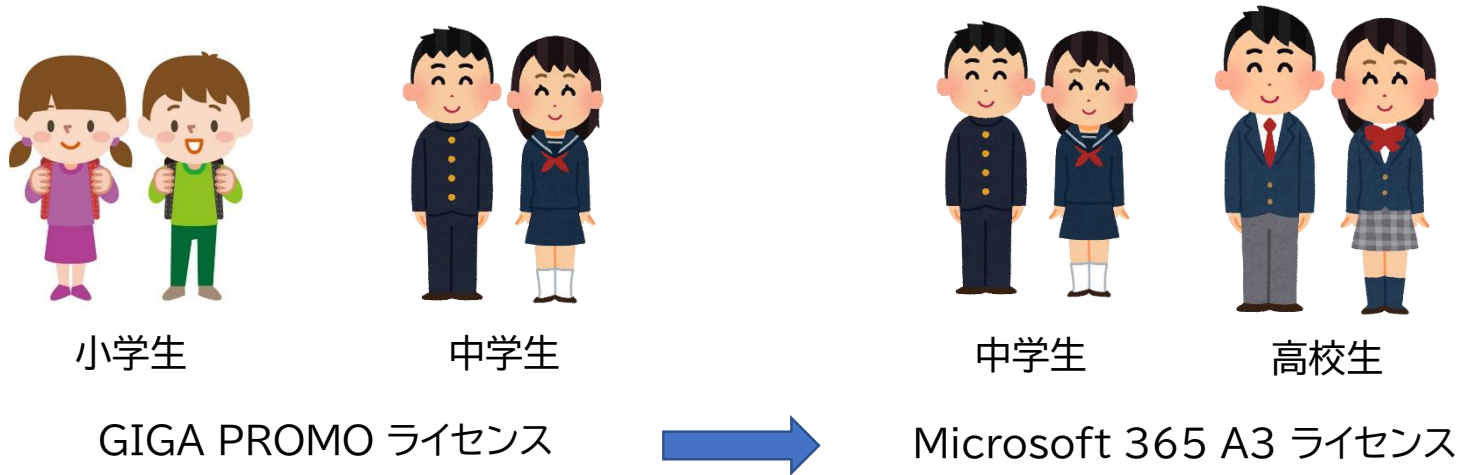
The screenshot shows the Microsoft Azure portal interface for managing a group. The breadcrumb navigation is: ホーム > 鹿児島県教育庁 > グループ > L_GIGAPROMO_さつま町. The page title is 'L_GIGAPROMO_さつま町 | 動的メンバーシップ ルール'. The left sidebar contains a navigation menu with items like '概要', '問題の診断と解決', '管理', 'プロパティ', 'メンバー', '所有者', '管理単位', 'グループ メンバーシップ', 'アプリケーション', 'ライセンス', 'Azure ロールの割り当て', and '動的メンバーシップ ルール' (which is selected). The main content area has tabs for 'ルールの構成' (active) and 'ルールの検証 (プレビュー)'. Below the tabs, there is a text box for creating or editing the rule. A table shows the rule's components:

および/または	プロパティ	演算子	値	
	city	Contains	さつま町	
および	streetAddress	Equals	1	

Below the table, there are links for '+ 式の追加' and '+ カスタム拡張機能のプロパティを取得します'. At the bottom, the '規則の構文' (Rule Syntax) is displayed in a text box: `(user.city -contains "さつま町") and (user.streetAddress -eq "1")`. There is an '編集' (Edit) link next to the syntax box.

■ ライセンス管理の工夫

- ✓ 教育委員会が変わるとライセンスが変わる
- ✓ 進学するとライセンスが変わる



ユーザーの属性値(所属学校、所属教育委員会)を変更すると自動的に適切なライセンスが割り当てられる。

Windows 端末のリフレッシュ

- Autopilot リセット(おすすめ)

PPKG(プロビジョニングパッケージ) で設定した内容は保持されるので、リセット後、すぐにユーザーはログインできる。

- ✓ 工場出荷時の設定へのリセット

リセット後再度、PPKG(プロビジョニングパッケージ) でキッティング作業を行う必要があります。

The screenshot displays the 'Intune for Education' dashboard. On the left is a navigation pane with options like 'ダッシュボード', 'See all', 'お気に入り', '高速構成', 'グループ', 'デバイス', 'ユーザー', 'アプリ', '登録マネージャー', 'レポート', and 'テナントの設定'. The main area is titled 'ダッシュボード > デバイス ...'. Below the title is a toolbar with icons for '同期', '再起動', '名前の変更', 'Autopilot リセット' (highlighted with a pink box), '工場出荷時の設定へのリセット', '検索', and '削除'. A search bar is present with the placeholder text 'デバイス名、プライマリ ユーザー、シリアル番号、製造元、モデル、オペレーティング システム、または OS バージョンで検索します'. Below the search bar, there's a dropdown for '1 ページあたりのデバイス数' set to '25'. A table lists devices with columns: 'デバイス名', 'プライマリ ユーザー', 'シリアル番号', '製造元', 'モデル', 'オペレーティング ...', 'OS バージョン', and '最終チェッ...'. The first row is selected, showing a Microsoft Surface Go 2 with Windows 10.0.19041.630. The table indicates 44935 items, with 1 to 25 records displayed on page 1 of 1798.

デバイス名	プライマリ ユーザー	シリアル番号	製造元	モデル	オペレーティング ...	OS バージョン	最終チェッ...
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	Microsoft Corporat...	Surface Go 2	Windows	10.0.19041.630	
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	Microsoft Corporat...	Surface Go 2	Windows	10.0.19041.630	
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	Microsoft Corporat...	Surface Go 2	Windows	10.0.19041.630	
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	Microsoft Corporat...	Surface Go 2	Windows	10.0.19041.630	